

## 【新しい高強度ハイブリッドレジンの 特性を考慮した使用方法について】

平成29年8月20日(日)に、中央・村山共催学術講習会が新庄市の最上広域交流センター「ゆめりあ」を会場に開催された。

(株)松風から高橋均先生を講師に迎え、ハイブリッド型硬質レジンの「セラマージュ DUO」について講演をいただいた。

13年前に発売された「セラマージュ」を進化させ、より物性を向上させたものとなった。硬さが光重合だけの場合も上がっていて、加熱重合をする事によってさらに硬さが上がった。その事によって耐摩耗性も向上した。三井化学との共同開発されたモノマーを採用することによって強度(曲げ強さ)、靱性(破折のしにくさ)を向上させる事が

出来た。ポーセレンほどの硬さを求めると脆くなってしまうために、フィラーの数はさほど増やさずに強さとしなやかさを両立させた事により、脆さを抑えたチップしにくいものになった。という内容であった。その他の材料についての説明の後、実際「セラマ



ージュ DUO」の築盛・研磨を体験させていただいた。築盛・形態修正までで時間切れとなってしまったが、ペーストのスパチュラ離れも良く、切削性も良好で扱いやすい材料だと感じた。

個人ではなかなか体験できない新商品をふれる事が出来て、今後の材料の選択に大変参考になった講習会であった。



## 北海道ブロック・東北ブロック

### 歯科技工士協議会学術研修会

#### 「女性歯科技工士セミナー」に参加して

中央地区 花等きよ子

11月12日（日）仙台市青葉区「仙台戦災復興記念館」にて、「女性歯科技工士セミナー」が開催されました。男性の方も参加できるということだったので、会場内は男女同じくらいの人数でした。

初めに東北ブロック協議会ブロック長の長内隆氏のご挨拶で、日本歯科技工士会での初めての企画です。女性活躍推進委員が全国六か所で開催されるこの研修会は、安倍総理が取り組む「女性が輝く日本」アベノミクス成長戦略でもあります。女性の活躍を位置付けているこの活用戦略とも相まっていますと話されました。

#### 第一部、徳永恵美子先生（熊本）トリートメントコーディネーター。



治療者と患者の間に立ち双方にとって良い満足のいく治療を進めるための調整を行い、その他さまざまな相談に対応する仕事をしているとのことでした。また、自分のライフス

スタイルを考え計画を立てて過ごしてこられたそうです。しかし、現実、その予定通りとはいかないこともあったそうです。実際にあった自分の体験などもお話しされました。歯科技工士ではあるけれど、トリートメントコー

ディネーターとして活躍中です。①「笑顔」、②「時間管理プランニング」、③「程よい息抜き」、④「健康」が大切であると講演されました。

#### 第二部、藤王千春先生（北海道・帯広）。フリーランス（個人事業主）という働き方で仕事を



しているという働き方で仕事をしています。仕事の量は自分で決め、自分のライフスタイルに合わせて仕事をしています。歯科技工士学校卒業後は、歯科医院

で勤務されました。長年医院で働き続けられていましたが、義母の病気を看病することになり、働き方を変えられたそうです。仕事に対する心構えや生活設計などを、『いい仕事をして豊かに暮らす方法』という本との出会いから学び、理路整然と話されました。

#### 第三部、山下茂子先生（大阪）。経営者であり、日本歯科技工士会



理事の立場から講演されました。経営者の皆様へと、女性歯科技工士を長く雇用していただくために何が必要かと、ご自分の職場の様子を紹介しながら、女性歯科技工士の働く上での問題や課題について関西弁であつくかたってくださいました。主に、時間と曜日の選

択を含め、働き方を労使間で相談すること。周囲の方々の理解と協力が必要かつ大事であることなどだそうです。

#### 第四部、 三名の先生方のパネルディスカッション

改めて私は、周りのサポートがあったから今まで仕事が続けられた  
と思いました。また経営者の方々にとっては、女性歯科技工士を雇用  
するうえで大きく有用なヒントが示されたと思いました。

これからますます重要な働き手になるであろう女性歯科技工士で  
すが、後輩のためにも輝いて仕事ができるよう心掛けていきたいと思  
いました。



#### ◇H29 年度山形県歯科技工士会事業報告(4月～12月)

- 4月 9日 第一回常任理事会・第一回県連盟理事会
- 5月 21日 第一回全理事会
- 21日 第六回社員総会
- 6月 17日 日技第六回社員総会
- 27日 健康フェア会議
- 7月 2日 第二回全理事会・第二回県連盟理事会
- 8月 20日 中央・村山地区共催学術講習会
- 9月 1日 健康フェア会議
- 3日 第二回常任理事会議
- 3日 山形県防災訓練(酒田市)
- 30日 東北ブロック会議(秋田県)
- 30日 健康フェア
- 10月 1日 健康フェア
- 15日 四地区合同レクリエーション(置賜地区)
- 11月 4日 三会懇談会
- 11月 5日 歯科保健大会
- 12日 女性歯科技工士セミナー(仙台市)
- 18日 日技連盟評議委員会
- 18日 全国会長懇談会
- 19日 厚労省委託「平成29年度歯科補綴物制作過程等の情報提供推  
進事業」研修会
- 26日 鶴岡地区歯科医師会創立100周年記念式典祝賀会
- 12月 3日 第三回常任理事会・第三回県連盟理事会
- 3日 置賜地区生涯研修

## 置賜地区生涯研修

〔CAD/CAM システム操作～模型のスキヤニング  
から設計までのデモンストレーション〕

### 菊池 透(置賜地区)

12月3日(日)に南陽市・赤湯公民館(えくぼプラザ)を会場に置賜地区生涯研修会が開催されました。

デンケン・ハイデンタル(株)から大濱洋一郎氏を講師に迎え、CAD/CAM についての講習を受けました。

国内でも白い歯への意識が高く、歯科金属の高騰により、材料コストの急変する事の少ない CAD/CAM による歯科補綴が多くなっている今の現状を知ることが出来ました。予定時間を多少過ぎ、最新の CAD/CAM システムの実機を操作しながらの質問・応答となりましたが、有意義な研修となりました。



中川真奈美さんお子さん誕生  
おめでとうございます

啓悟くん

H29年11月12日生



# 《やまがた健康フェア 2017》

太田 春彦 (中央地区)

去る、9月30日、10月1日の二日間にわたり「やまがた健康フェア 2017」が山形市ビッグウイングに於いて開催され、山形県歯科医師会「いい歯の日のコーナー」の一角をお借りし山形県歯科技工士会も参加してまいりました。

この「やまがた健康フェア 2017」は健康長寿やまがたの実現を目指し、健康長寿を延ばすための取り組みを進める一環として、健康・医療・介護予防に関する様々な情報を県民に発信することにより、若い

方から高齢者まで自発的な健康づくりや生活習慣の見直しを促し、健康長寿日本一をめざすため山形県が開催するものです。

本会からは一日目が村山地区から上林さん、佐藤(豊)さん、高橋さんが二日目は中央地区から花等さん、尾形さん、太田の各

会員が出席しました。以下、当日の様子を報告します。

山形県歯科医師会の大きな幟と揃いの法被、衛生士会も幟とお揃いのポロシャツと、統一感がありましたが、技工士会はそのどちらも無く、こんなときこそあのロゴ入りシャツを準備しておけばと思いつつ、せめて会の旗印があればと少し残念！

開場準備を終えてロビーに出ると既に長蛇の列が…関心の高さがうかがわれました。今回から、サブステージでのプレゼンテーションの時間をいただきましたが 衛生士会の方々の要点を押さえた手慣れたプレゼンテーションに感心しつつ、我々技工士会は県民の健康維持に貢献しながらも 社会との関わり、プレゼンテーションの機会が乏しいのではないかと感じました。

開場にあたり県のプロジェクト推進の吉田先生から前日の「いい歯の日のコーナー」には350名余の来場者があり 本日も同等かそれ以上の来場者が見込めることと、来場された方々にカウントも兼ねて歯ブラシをお渡しするようにとお話しがありデンタルスタッフの一員として臨みました。

さて、この度の目玉企画は石膏の人形作り体験でしたが、上林さんと花等さんの持ち出しの種類豊富な抜き型と担当会員の努力も相まってか準備した石膏が初日で残り少なくなり二日も補充する盛況ぶり、お昼休憩もそこそこに椅子が温まる間も無いありさまで、出番が一日だけで良かったと胸をなでおろしました。また、展示した技工物に関心を示してくれた人々もおおり、何かしらの補綴物で関わりがありつつも 必ずしも皆が満足感を得ている訳ではないと実感できました。

今回は開催スタッフの一員でしたが さまざまな団体、企業が参加しており興味深いものもあって一般の来場者としても楽しめたのではないかと思います。



## フラワー長井線の旅

昨年は60周年記念行事のために実施出来なかった4地区合同レクリエーションが、置賜地区の担当で開催されました。

山形鉄道の貸切車両で料理と飲み物をいただきながらフラワー長井線の旅を楽しむ企画でした。

長井駅に集合した後、普通車両で荒砥駅まで行き、そこから貸切車両に乗車して赤湯駅に向かって出発しました。電車の中ではガイドの方からフラワー長井線沿線の説明を詳しくして頂きました。途中の宮内駅で一旦下車し、うさぎ駅長(着ぐるみを着た若い女性)の出迎えを受けながら熊野大社を参拝しました。ちょうど菊まつりが開催されていて、大勢の観光客で賑わっていました。

熊野大社の観光を終え、長井駅へ向かいながらも料理と飲み物を堪能し、ゲームで盛り上がりながらあっという間に楽しい旅が終わってしまいました。個人ではなかなか体験できない旅でしたので、大変楽しむ事ができました。

担当の置賜地区の皆さん、ありがとうございました。



